



大地申
第10号

「平成31年3月ダイヤ改正等について」に関する申し入れ

交渉開催 車セ関係 その1

2月19日～22日、申10号「平成31年3月ダイヤ改正等について」に関する申し入れの交渉を行ってきました。車両関係の議論のポイントです。

【車両関係・共通】

- 1、品川駅構内切替工事による車両改修や相鉄線乗り入れに向けた工事、車両運用新規設定に伴う改修などに関わる手続きの遅れにより、各職場で急遽の対応が増えていることから、その原因を明らかにするとともに、前広にスケジュールを示すこと。

【議論要旨】

<6/16 品川駅切り替え工事>	<SSライノ逗子-古河新規設定>	<相鉄乗入の改造工事>
<p>6/12 切り替え工事の関係で、車両の改修を行わなければ運行できないことが判明。 夜間含めて現場・東京支社・横浜支社と協力して、無事に工事を迎えた。</p>	<p>12月に新規設定の車内表示・自動放送ができないことが判明。 3月1日から改修の予定が、準備が整い、2月22日から開始。 当面日勤での対応だが、改正に間に合わなければ夜間・休日での対応を検討。</p>	<p>9月から工事の予定が、直前で申請が遅れたことを知り、10月からの工事となった。工程もJ-TRECから7日では無理となって9日で行っている。実施ありきではなく安全優先で、間に合わないと本社には伝えている。</p>

組：現場は間に合わせなければと受け手なる。工期が短くなれば、リスクは高まる。縦と横の組織の課題だ。

会：支社でコントロールできればいいが、そうはいかない。現状は本社にも伝えている。現場をフォローしていく。

実施ありきではなく、安全を優先に進めていくことを確認！

【小山車両センター分会】

<p>1. 安全上や作業工程の観点からも、10両編成対応の転削機を新設すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の編成に合わせて、作業が効率的になるような設備を検討している。 ・間違いなく前進はしている。 ・確定すれば、情報は発信していく。 ・留置の問題を含め、現場の声を聴きながら進めていく。 	<p>2. いろは限定運用やモニタリング装置の点検などにより予備での交検が難しくなっているため、205系交検を運用段に組み込むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・205系は、いろは・日光線・東北線で2編成予備を確保している。 ・運用段に交検ということも検討したが、運用段に入れないうほうが柔軟に対応できる。(モニタリング車両の対応) ・保線課主体の施策だが、小山車セの車両や留置の状況が厳しいことは伝えている。今後も情報を共有していく。
<p>3. スタンバイダイヤでの修繕や修繕時間の確保のために予備車を増備すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンバイ予備は運用段に組み込まれており、改修等で対応していることは認識している。 ・本社にも状況は伝えており、使用状況の実績は積み上げていく。 ・車両の改修については、各区所の担当者を集めて来年度の件名を決定していく。 ・より実務に近い方の声を聞いていく。 	<p>4. これまでの議論経過を踏まえ、運用一徹体制を標準数に組み込み、更に異常時の体制を強化すること。</p> <p>組：UT開業時当初、運用担当を一徹6名体制と議論してきた。しかし安衛で標準数は4名、他は応援で対応していると言われている。現状応援出来る体制はない。</p> <p>会：標準数はあくまで目安。議論経過は認識している。より良い体制で行えるよう、現状を見ながら、現場をサポートしていく。</p>